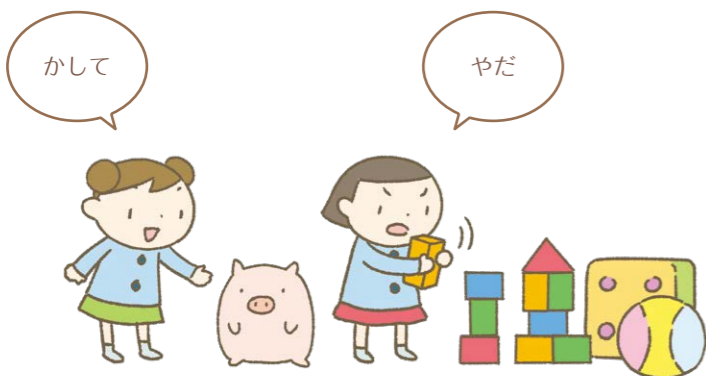


ライフステージに応じた関わり方 ～「対人関係のむずかしさ」編～

幼児期

例えばこんな
むずかしさ

おもちゃをかさない



行動への考え方

相手の言動の意図がわからなかったり、かんちがいをしているのかもしれませんが

対応方法

状況や相手の意図を大人が説明してあげるとよいでしょう。また、相手に対してどのように応じたらよいのか、行動を具体的に伝えましょう



関わり方のポイント

他者とスムーズに関わるための方法（声かけなど）を教え、まずは大人と練習しましょう

学齢期

例えばこんな
むずかしさ

思ったことをそのまま言う



行動への考え方

相手の反応から気持ちを想像することが苦手なのかもしれません。コミュニケーションの暗黙のルールがわかっていない可能性もあります

対応方法

相手の気持ちに気づくためのポイントやトラブルのきっかけになりそうな言葉や行動について話し合い、どうしたらよかったのかふりかえてみましょう



関わり方のポイント

状況を客観的にふりかえるために、表情カードのような視覚的にわかるヒントを使ったり、状況を時系列に整理したりしてみましょう

成人期

例えばこんな
むずかしさ

急な予定変更があっても、自分のやり方を変えられない



行動への考え方

自分の考えたスケジュールが変わることで、見通しが立たなくなることへの不安や対応方法を考えることが苦手なのかもしれません

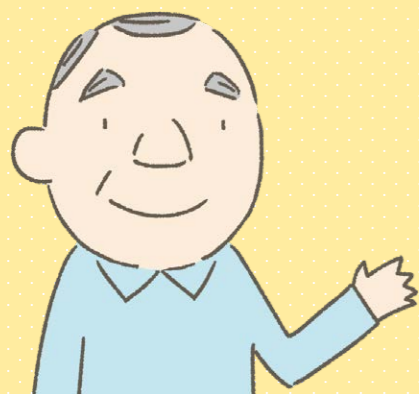
対応方法

仕事や作業の優先順位、仕事のルーティーンについて話し合い、共有することで、見通しが立ちやすくなるようにしましょう



関わり方のポイント

決められたルールやパターンを守ることができるのは、長所にもなります。その人にあった働き方ができるようにサポートしましょう



状況や相手の気持ちの理解が難しかったり、ほかの人と興味の対象や優先順位が違っていたりするために、対人関係のトラブルが生じてしまうことがあります。スムーズな対人関係を築くための知識として、一般的な考え方、対応方法を伝えるとよいでしょう。一方で、ストレスを溜めずに「その人らしく過ごせる」ようにサポートすることも大切です

スムーズな対人関係を築くために伝えておきたいコト

自分が知っていることや感じていることが、相手と違う場合があると伝えていきましょう

相手の気持ちを優先して自分の気持ちを抑えつけないように、自分の気持ちの上手な伝え方を教えましょう